

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

令和5年10月19日発行

1. 発生動向

上段は発生患者数、下段は定点当たり

疾病	疫学週				判断基準(定点当たり)		
	38週	39週	40週	41週	警報レベル	注意報レベル	基準値
	9月18日～9月24日	9月25日～10月1日	10月2日～10月8日	10月9日～10月15日	開始基準値	収束基準値	基準値
インフルエンザ#	15 5.00	4 1.33	5 1.67	3 1.00	30	10	10
新型コロナウイルス感染症#	22 7.33	19 6.33	12 4.00	14 4.67	-	-	-
RSウイルス感染症	0 —	2 1.00	1 0.50	0 —	-	-	-
咽頭結膜熱	0 —	0 —	1 0.50	2 1.00	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0 —	0 —	0 —	1 0.50	8	4	-
感染性胃腸炎	6 3.00	7 3.50	3 1.50	5 2.50	20	12	-
水痘	0 —	0 —	0 —	0 —	2	1	1
手足口病	2 1.00	2 1.00	3 1.50	0 —	5	2	-
伝染性紅斑	0 —	0 —	0 —	0 —	2	1	-
突発性発しん	0 —	0 —	0 —	0 —	-	-	-
ヘルパンギーナ	1 0.50	1 0.50	1 0.50	0 —	6	2	-
流行性耳下腺炎	0 —	0 —	1 0.50	0 —	6	2	3
急性出血性結膜炎	定点設定なし				1	0.1	-
流行性角結膜炎	定点設定なし				8	4	-
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	定点設定なし				-	-	-
無菌性髄膜炎	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎	定点設定なし				-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	定点設定なし				-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎(小児科)	0 —	0 —	0 —	0 —	-	-	-
川崎病	0 —	0 —	0 —	0 —	-	-	-
不明発疹症	0 —	0 —	0 —	0 —	-	-	-

栗原支所管内定点数: #は3施設。それ以外は2施設

2. 施設対応状況 (過去2週間における支所対応状況) ◎:複数対応中、○:対応施設あり、-:対応無し

施設区分	保育所	高齢者・障害者入所施設	医療機関
対応状況	—	◎	—
備考		新型コロナウイルス感染症	

*「1.発生動向」の解釈について

・上段は圏域全体で一週間に診断した患者数
 ・下段は一つの定点(医療機関)において一週間に診断した患者数
 ・下段の定点当たりの数値を表右側の判断基準と照らし合わせて評価してください。

3. 新型コロナウイルス感染症の段階適用状況

国の基準に基づき、在院者数に応じた本県の段階(Ⅰ～Ⅲ)を定め、段階に応じて即応病床数を設定しています。

	段階	適用期間	県の在院者数
今週	0	10/18～10/24	108人
前週	0	10/11～10/17	101人

※県の在院者数は毎週水曜日時点

4. 栗原支所より

【定点把握対象疾患】

- ・インフルエンザは前週より減少しています。
- ・新型コロナウイルス感染症は前週より増加しています。
- ・感染性胃腸炎は前週より増加しています。

【集団発生情報】

高齢者施設において、新型コロナウイルス感染症の集団発生がありました。PPE等の必要物品の在庫確認・補充、平時からの感染対策(手洗い、手指消毒、換気、PPE着用等)及び陽性者発生後のゾーニングについて再確認しましょう。

【感染症コラム ～水痘～】

- ・水痘帯状疱疹ウイルスに「初めて感染」した際、発熱や発疹を呈する急性の感染症です。
- ・10～21日の潜伏期を経て、1～2日の発熱とだるさ、発疹を症状とします。発疹は全身性でかゆみを伴い、紅斑、丘疹を経て水疱となり痂皮化します。
- ・感染経路は、空気・接触感染です。発疹出現の1～2日前から出現後4～5日または痂皮化するまでは伝染力があります。
- ・学校保健安全法において「すべての発しんが痂皮化するまで出席停止」とされています。
- ・水痘ワクチンの2回接種により、予防、症状の軽症化が期待できます。
- ・一回感染すると体内に潜伏するため、疲れなどにより抵抗力が落ちた時にウイルスが活性化され、「帯状疱疹」となります。

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班
 ☎0228-22-2117 📠0228-22-7595
 HP:<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khhwfz/ktindex.html>